

12月4日～12月10日は「人権週間」です

1948年12月10日に「世界人権宣言」が採択されたことを記念して、毎年12月4日から10日までを人権週間と定め、全国でさまざまな取組が行われています。今回、主な課題とされている12項目をご紹介しますが、このほかにも私たちの抱える人権の課題があります。人権について皆さんと一緒に考えてみませんか？

- 女性 の人権を守りましょう
- 子ども の人権を守りましょう
- 高齢者 の人権を守りましょう
- 障がいのある人 の人権を守りましょう
- 部落差別 をなくしましょう
- 外国籍の人 の人権を守りましょう
- インターネットによる人権侵害 をなくしましょう
- 性的指向や性自認 を理由とした差別をなくしましょう
- アイヌの人々 に対する差別や偏見をなくしましょう
- HIV感染者・ハンセン病患者等 に対する偏見をなくしましょう
- 犯罪被害者やその家族 の人権に配慮しましょう
- 刑を終えて出所した人 に対する偏見をなくしましょう

→ P 6に“社会を明るくする運動”についての作文を掲載しています

人権について困ったことがあれば、一人で悩まずにご相談ください

九重町隣保館

電話番号 ☎0973-76-2468
相談時間 平日の午前8時30分～午後5時

みんなの人権110番（全国共通人権相談ダイヤル）

● 電話で相談する
電話番号 ☎0570-003-110
受付時間 平日の午前8時30分～午後5時15分

インターネットで相談する



相談フォームに氏名・住所・年齢・相談内容等を記入して送信すると、最寄りの法務局から後日、メール等で回答されます

いのち・愛・人権フェスティバルが開催されました



▲ 12月7日に「第22回 いのち・愛・人権フェスティバル」が九重文化センターで開催されました。今年は「100年の想い～語る・つなげる・人権の輪～」をテーマに、『なるほど・ザ・人権講座』（P18「心の扉」で講座の様子を紹介）の実践報告や、ハンセン病患者の体験をもとに描かれた「わたしは、人間であって人間でなかった」が紙芝居で発表されたほか、ホールでは人権パネル展や各地区人権・部落差別解消啓発推進協議会の活動報告などが展示されました。

特集2

思いやりと優しさを広げて

私たちの生活はコロナ禍で大きく変わらざるを得ないものとなりましたが、“人と人とのつながり”や“他の人への思いやり”を大切にすることが変わることはありません。

今月号は地域の絆を結び続けてきた活動について、また「明るい社会にするためにできること」について考えた、このえ緑陽中学校生徒のエッセーと作文をご紹介します。

一人ひとりが幸せに暮らしていけるよう、私たちがもっている「思いやり」と「優しさ」を、九重町に広げてくださいませんか？



「おおいた教育の日」エッセー
中学校の部 最優秀賞（大分県教育の日推進会議会長賞）

笑顔のために

九重町立このえ緑陽中学校 3年 加木みゆな

「新しい朝が来た、希望の朝だ」
夏休みの私の一日はこの歌と共に始まります。私は今中学3年生です。中学生になってもラジオ体操を続けています。毎日近所のバス停の広場でラジオ体操に参加するのは、私たちが中学生二人と近所のお年寄りです。私の住む地域は、子どもの人数が少ないです。私が小学校の低学年の時には兄や姉もいて

喜ばれたり、褒められたり、感謝されたりしています。今年は特にその感謝の気持ちを私の通う中学校の校長先生に報告してくれていました。校長先生からは「中学校が統合して地域に子ども達の声が聞こえなくなったと言われることが多い中、あなたのように地域との絆をしっかりと結んでくれる素晴らしいことです。ありがとうございます」とも嬉しかったです。



加木さんが作ったスタンプカード。花火やスイカ、花を1枚1枚手描きして、お年寄りの名前を書いて渡しています。

小学生も多かったので皆で朝集まりしたり、鬼ごっこをしたりしてました。でも、私が高学年になると兄や姉になりました。ラジオ体操をやめようかという話にもなりましたが、朝はやほり朝日を浴びたいよねということと二人でも続けようという決意をしました。それから二人でいろいろ考えて、せっかくなら近所のお年寄りを誘ってみようということになりました。自分たちで近所のお年寄りに声をかけると、多くのお年寄りの方が集まってくれました。

ラジオ体操は6時半からですが、おばあちゃんたちはいつも早く来ていて、皆でバス停に座ってお話をしています。私は朝が弱いので始まる5分前から笑い声が聞こえてきて、朝から最高の気分になります。体操の準備をして音楽が始まれば、皆がいつもの位置に立って体操が始まります。ラジオ体操第1・2が終わってから、「ありがとうございます」とあいさつをして私たちが、カードにスタンプを押します。お年寄りのカードは私の手作りです。毎年デザインを変えているので楽しみにしてくれています。お年寄りが好きそうな柄にしたり、スタンプやシールを見えやすいように大きくしたりと、私なりに工夫しています。夏休みの最後には、続けてくれた記念品を手作りして配っています。私にとっては日常となった夏のラジオ体操ですが、お年寄りのみなさんからはいつも



加木みゆなさん

と言ってくれました。褒めてもらったり、感謝されたりすることは嬉しいけれど、実は私の方がずっと感謝しているのです。お年寄りの方と一緒にラジオ体操を始めて今年で6年になります。この6年間、毎日ラジオ体操を楽しみに早起きをして集まってくれて、朝から笑い声を聞かせてくれて、笑顔を見せて、私を元気にしてくれました。私は自分の感謝の気持ちを伝えるために、毎年最後の日に記念撮影をして、手作りの記念品をプレゼントしています。今年はみなさんが健康で楽しい日々を送れるように願って、だるまのお守りを作りました。今年入院して来て来られなかった方の分も作って渡しました。

私は、自分のやってきたことが特別なことだとは思っていません。ただ、地域とのつながりが減ってきている今、自分がしてきたことで、お年寄りが笑顔になり、地域との絆を結ぶことにつながったのであれば嬉しいことです。来年は高校生になりますが夏休みのラジオ体操は続けていくつもりです。私ができることで、誰かが笑顔で幸せだと感じてくれたら、私自身も幸せです。これからも人のためになる人生を歩んでいきたいと思っています。